

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス Colorful Kids First		
○保護者評価実施期間	2026年1月21日		～ 2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年1月21日		～ 2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解が出来ている	・送迎時など日々些細な事でも伝えるようにしている ・モニタリングや面談を積極的に行い、情報共有を行っている	・保護者との信頼関係を築き、どんな事でも伝えられるような関係性を築いていく ・些細な事でもこどもの状況をしっかりと伝えていく
2	・こどもの事を十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析した上で個別支援計画書を作成している	・日々、保護者との送迎時でのモニタリングや面談をする中でニーズや課題を分析している ・個別支援計画書を作成する前に必ずモニタリングを行っている	・少しの時間でも保護者とのコミュニケーションを図り、こどもの特性など理解していくようにする ・モニタリングを積極的に行い、ニーズや課題を見極めていく
3	・こどもの事を十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援の提供が出来ている	・専門的な知識を活かして、こどもの特性に寄り添った支援を行っている	・日々、研修や特性に応じた支援方法など勉強していく ・個々の支援内容や方向性を職員間で共有していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている事の周知	・避難訓練の実施は2ヶ月に1回行っており、カレンダーやお帳面に記載、記入しているが口頭での周知が行えていなかった	・カレンダーやお帳面だけの周知ではなく、口頭での周知も行っていく
2	・保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会、また、きょうだい同士の交流の機会を設け、きょうだいの支援	・Colorful Ringを開催しているが、参加が難しい保護者も居るので、日程などを考えていく ・きょうだい同士の交流の機会が設けられていない	・Colorful Ringの開催日程の調整を行っていく ・きょうだい同士の交流の機会を設けるよう検討していく
3	・保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他の地域で他のこどもと活動する機会	・Secondとの交流はあるが、保育所や認定こども園、幼稚園との交流は設けられていない	・視野に入れ、機会を設けられるよう時間の確保をし、機会を増やしていけるようにしていく